



2023年8月期第2四半期決算説明会 質疑応答 (2023年4月14日開催)

業績予想修正について

Q

・2023年3月31日に公表された業績予想修正の説明文に、『案件の失注』という記載があります。この失注と判断された理由と、なぜこの土壇場でそのようなことが起きているのか、中間でのチェックがおろそかではなかったのか、と考えますがいかがでしょうか？
また今後その案件は再び受注可能なのでしょうか？

A

今回の失注につきましては、最終段階で不採用とのご連絡が先方様よりありました。当社の受注見通しに齟齬があった点について反省し、不採用となった要因や、途中段階での判断の妥当性等を分析し、今後の事業判断に生かす所存です。現在交渉が進行している大型案件につきましては、情報の取得、技術的背景や事業環境への万全の準備を整えて臨んでおります。

Q

・2023年3月31日に公表された業績予想修正(業績悪化)の責任は、誰がどのように取るのでしょうか？

A

業績の悪化につきましては、経営陣全体の責任として強く受け止めております。今後、遅れております新規事業の立上げと米国を中心とした海外展開の拡大に注力し、事業の拡大、利益改善を果たすことこそが今後の使命と肝に銘じております。
また、新しい試みなども早急に立ち上げるべく邁進してまいります。

Q

・下方修正により株価を下落させている印象ですが、確実な計画に基づいた業績予想を発表することを望みます。
結果的に上方修正する方が株価への影響も小さくなると思います。

A

現在交渉が進行している大型案件につきましては、獲得に向けて万全を期しておりますが、今後の事業計画作成にあたりましては、その実現可能性を慎重に判断していくこととしております。株主の皆様のご意見を真摯に受け止め、今後もより一層の努力をしてまいりますので、引き続きご支援いただけますようお願い申し上げます。

株価について

Q

・株価対策についてどのように考えていますか？

A

IR活動を通じて今後の成長ポテンシャルをお示ししていくことが重要だと考えております。画像認識技術の深耕に拠る事業拡大や法人向けDX事業も伸ばしていく予定で、これらの事業の方向性や具体的な内容を投資家の皆様にお伝えしていくことによって株価の上昇につなげたいと考えております。

大阪万博について

Q

・大阪万博でのアスタリスクの活躍の場があるように感じます。鈴木社長の考えをお聞かせください。

A

ご提案、ありがとうございます。

おっしゃる通り、当社の技術をアピールするには良い機会ではあり、他社とのコラボも含めて検討をしております。費用や準備なども含め、効果を考えた上で判断をしたいと思っております。

月次データについて

Q

・月次データは前年同月比よりも当該月の実際の受注件数・受注金額そのものを開示を希望します。その方が分かり易いと考えます。宜しくお願い致します。

A

月次データは透明性の確保に努める一方で、競合先への情報提供となる点や、取引先様への秘密保持の観点から慎重な対応も求められます。今後、投資家の皆様に向け、より効果的な情報の開示を検討していく予定です。